電算・情報関係部課長会議　会議録

１　日　時　令和７年７月 29 日（火）　午後２時 00 分から午後２時 42 分

２　会　場　愛知県自治センター　大会議室

３　当番市　弥富市

４　出席者　県・・・情報政策課担当課長　大橋順雄
情報政策課システム運用グループ
ネットワーク管理グループ課長補佐　児玉朋孝
情報政策課 DX 推進室主査　高田芳洋
市・・・名古屋市総務局行政 DX 推進部
デジタル改革推進課長　松岡由紀彦　始め 37 名
市長会事務局・・・行政係長　武本恵
財政係長　福井直也

５　内　容

①　開　　会

【事務局】

本日は業務ご多忙の中ご出席いただき誠にありがとうございます。

またお忙しいところ、ご臨席賜りました愛知県の皆様方には、心より御礼を申し上げます。

私は進行を務めさせていただきます愛知県市長会事務局の福井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、愛知県市長会では 15 部門に分けて各種部課長会議を開催しており、そのうちの１つがこの電算・情報関係部課長会議となります。

これらの会議は、各部門における課題等につきまして、意見交換や情報提供を行い、また必要に応じて、愛知県の方からご助言などもいただくといったことを目的として例年開催しております。

本日の会議においても積極的に議題をお持ちよりいただきましたので、日頃の業務の参考としていただければ幸いです。

それではまず初めに、ご多忙の中ご出席賜りました愛知県の皆様方をご紹介させていただきます。

総務局総務部情報政策課担当課長　大橋順雄様。

情報政策課　システム運用グループ　ネットワーク管理グループ　課長補佐　児玉朋孝様。
情報政策課　DX 推進室　主査　高田芳洋様。

② あいさつ
【事務局】
それでは、県を代表しまして、総務局総務部　情報政策課　担当課長　大橋様よりご挨拶をいただきます。

【愛知県情報政策課　大橋担当課長】
ただいまご紹介に預かりました、情報政策課担当課長の大橋と申します。本日はお願いします。
皆様方には、日頃から県の情報政策の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここ数年、地方公共団体情報システムの標準化・共通化に向けた取り組みや、情報セキュリティ対策の強化など、各市の皆様方におかれましては、多岐にわたる課題に対応されてることかと存じます。
加えまして、生成 AI やクラウドサービスの進展、そして多層的なセキュリティ対策の重要性が高まる中、自治体における情報政策のあり方も大きく問われる時代となっておると考えております。
本日の会議は、県内各市の情報主管課の皆様が実務に即した課題や取り組みについて情報、意見交換を行う大変な貴重な機会だと思っております。
県といたしましても、皆様のご意見を今後の施策の参考とさせていただきまして、より効果的な情報政策の推進に努めて参ります。
今後とも、県の情報施策に対しまして、引き続き皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。
本日はどうぞよろしくお願いいたします。

③ 議　　題
【事務局】
ありがとうございました。
ここからは資料に沿って進めさせていただきます。補足資料がございましたらお申し出ください。
なお本日、出席者名簿に変更がございます。長久手市さんが欠席となっておりますのでよろしくお願いいたします。
それでは次第３、議題に入ります前に、前回会議におきまして、建制番号順によ

り、今年度の会議進行の議長当番市として、弥富市さんに決定しております。
弥富市総務課長　横江様、よろしくお願いいたします。

【議長】
今回、この会議の進行を務めさせていただきます。弥富市役所総務課横江と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
それでは会議に入る前に、本日の会議の進め方についてご説明させていただきます。
各市の状況は前もって配布していただいておりますので、各市の状況の発表は執り行わず、議題ごとに、まず提案市から趣旨説明をしていただきます。次に、私から簡単に取りまとめ状況の説明をさせていただきます。その後、回答につきましては、補足説明がある市がございましたら、補足説明をしていただきます。
次に、議題提案市に各市の回答について追加質問したい市があるかどうかお聞かせ願いまして、更に議題提案市以外の市で、追加質問やご意見があるかを聞かせていただき、最後に必要に応じて、愛知県の方からコメントをいただくという順番で進めさせていただきます。
また、この会議は、要望の場ではなく、情報や意見交換の場として開催するものでございますので、皆様から活発なご意見と情報共有をしていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
それでは早速、議題の方に入っていきたいと思います。
議題１、マイナンバー事務系端末の無線接続 VDI 化について、提案市であります一宮市さんより趣旨説明の方をお願いいたします。

●議題１　マイナンバー事務系端末の無線接続、VDI 化について

【一宮市】
一宮市情報システム課伊藤と申します。よろしくお願いいたします。
私の方からは１点、議題の方提出させていただきまして、総務省の情報セキュリティガイドラインの方が改定されまして、基幹系端末の Wi－Fi 化が利用可能になった、あわせて VDI の利用も認められるようになったというところで、現状マイナンバー系、基幹系の端末の方は有線接続、一宮市の場合、有線接続しておりまして、自席で使う分には支障はないですが、会議とかで今ペーパーレスということも進めておりますので、端末を持ってきて、出てくださいとかっていう際ですね、基幹系の部署はなかなか持って来れないというところがあります。
それとかいろいろ今給付金の関係で一時的に場所を移動したりとか、そういったことで別の場所で作業することも多いですが、その都度、有線の環境整備というと

ころで、そういった作業が必要になってきますので、このようなことが解消されれば、自由度がかなり高まるというところで考えております。
一宮市としてもまだやってるかどうかっていうとこは、決めかねてるところですが、各市の状況の方確認させていただいて、取り組んでいきたいなと考えておるところでございます。
以上です。

【議長】
はい。ありがとうございました。
一宮市さんからの提案の各市の回答につきましては、資料１でまとめられております。
各市の回答を見させていただきますと、まず１つ目のセキュリティポリシーの改訂対応予定につきましては、予定ありと回答された市が 21 市、検討中が７市、予定なしが 10 市という状況になっております。
予定ありの場合の対応時期につきましては、今年７月から令和８年度以降と分散しておりますが、令７年度中の対応を予定されている市が 16 市と多い状況になっております。
次に２点目でございますが、マイナンバー事務系端末の無線化の予定につきましては、予定ありが５市、検討中が 10 市、予定なしが 23 市と予定されてる市は少ない状況となっております。
３つ目の VDI 化の予定につきましても、予定ありが３市、検討中が７市、予定なしが 28 市と、こちらも予定されてる市は少ない状況でございます。
４つ目の質問ですが、その他課題や検討状況につきましては、各市状況が様々でございますので、記載内容をご確認いただきたいと思います。
このように各市がご回答いただいているところでございますが、補足説明をしたいという市がございましたら挙手をお願いいたします。
よろしかったでしょうか。
それでは、一宮市さんの方から特に伺ってみたい市がございましたらよろしいでしょうか。

【一宮市】
はい。すいません。皆さんご回答いただきましてありがとうございました。
私の方から一つお聞きしたいところが岡崎市さんで、ちょうど基幹系端末の無線化の設定作業中ということの記載がありました。
端末の無線化にあたっては、Wi－Fi の暗号化っていうことは当然されてるかとは思うんですけどもその他に、何か端末の認証のようなもの、MAC 認証であったり、

証明書を入れたりっていう、ちょっとセキュリティを高めることがあるかなと思いますので、そういったことをされてるのかどうかで、あと、ちょっと書いてありました戸籍システムについては、ちょっと確認中ということの記載がありましたので、何か無線化するにあたって、何か障害になってるような検討すべき事項があれば教えていただきたいなと思いました。

【議長】
それでは、追加の質問ということでございますが、岡崎市さん、よろしくお願いいたします。

【岡崎市】
はい。岡崎市です。
暗号化以外のセキュリティ対策ということですけれども、バリュー認証というものを使っているということであります。
パソコンないし電子証明書を入れてバリューサーバーで認証した端末が無線接続できるというような形で行っているということでございます。
あと戸籍端末の方の障害となっている事由っていうところなんですけども、今ベンダーは日立さんですけども、ベンダーを通じて法務省だったかな、の方に確認をさせていただいておりまして、このネットワークでどうなのかっていうところの確認だと思うんですけども、その確認がですねまだちょっと答えが来てなくて、どこがいけないのかとか障害があるのかっていうところまではちょっと分からないような状況というふうな感じです。
まだ、この接続の仕方でいいのかどうなのかって言うところの回答が得られてないのでそこでずっと止まっているみたいな形かと捉えていただければいいかなと思ってます。

【議長】
はい。ありがとうございました。
一宮市さんの方から、この件について何か追加で確認したい内容はよろしいでしょうか。

【一宮市】
はい。総務省の方へ確認中というお話でしたけど、何で技術的にどうのこうのっていう話ではなくて、戸籍の運用上っていうところで少し、かかるということで、すいません。
ちょっとそこまで、理解がしてなかったので、もし何か、知ってることがありま

したら。

【岡崎市】
すいません。ちょっと前置きでごめんなさい。私も今年来たばっかりで、なかなかちょっと勉強不足のところがあって申し訳ないです。言い訳になってしまうかもしれません。
担当者いわく、まだ本当になんていうかネットワークもそうですし、運用上のところもそうだと思いますけれども、そこも含めて全てがどこでこうなんて言うんですが、確認の遅れがあって、確認が取れてないのかっていうのが本当に分からない状況ということで日立の方からも、何も情報が得られてないというところであるというふうに聞いてるしかないもんですから、ごめんなさい、また詳しく分かったら、ご連絡申し上げたいと思います。
よろしいでしょうか。

【一宮市】
ありがとうございました。

【議長】
ありがとうございました。
それでは、他に追加で伺ってみたい市がございましたら、挙手の方をお願いいたします。
では、特に無いようですので、県の方からこの議案についてコメントなどあるようでしたらご発言の方をお願いいたします。

【愛知県情報政策課　児玉課長補佐】
はい。ありがとうございます。
本県では、職員が使う１人１台パソコンというのは、インターネット接続系三層の構えで言いますと、いわゆるβ´モデルとして運用しておりまして、LGWAN は、インターネット接続系から VDI を使ってログインしております。
また個人番号利用の端末については、専用のマイナンバー接続用のパソコンを使って利用しているところでございます。
総務省のガイドラインでは、マイナンバー取扱事務担当者以外の者が、特定個人情報等を容易に閲覧等できないことにすることや、盗難や紛失等を防止する物理的な安全管理措置を講じる必要がありまして、本県でも、例えば、有線で接続しておりますとか、あと机に括り付けて、パソコンが紛失しないように対策を講じているところでございます。

本県でも効率的に働ける職場環境の整備として、一部の職場ではフリーアドレスを順次導入しておるところなんですけれども、フリーアドレス化によって、会議のペーパーレス化が促進できるというメリットも考えられますけれども、最初にご説明しましたとおり、マイナンバーを扱う事務につきましては、安全対策の観点が重要でございまして、そういった部分から考えますと、本県では無線の接続は課題が多いものと、そのように考えております。

以上でございます。

【議長】

はい。ありがとうございました。

議題１につきましては、以上とさせていただきます。

続きまして、議題２、今後のネットワークモデルの検討状況について、提案市でございます清須市さんより趣旨説明の方をお願いいたします。

●議題２　今後のネットワークモデルの検討状況について

【清須市】

はい。清須市役所企画政策課の神野と申します。よろしくお願いいたします。

本市では、令和９年度に内部情報系ネットワークの機器更新に合わせて、ネットワーク構成の移行を現在検討しております。

今、国の方では 2030 年度を目途にクラウドサービスや、テレワークを利用できる利便性と強固なセキュリティを両立させる新たなネットワークへの移行を目標としております。

そういった検証事業などを今実施しているところではあると思いますが、現状の方で国からは提示されているようなネットワーク構成ってのは確立しておらず、今後の動向については不透明であると感じております。

そのため本市において、移行先をどのようなモデルにするのかという方針を決めかねておるところでございます。

そこで移行先を検討する上で、参考とさせていただくため各市の移行状況であったり、また移行先の検討状況について、ご教授いただければと思います。

よろしくお願いいたします。

【議長】

はい。ありがとうございました。

清須市さんの提案の各市の回答につきましては、資料２にまとめられております。

各市の回答を見させていただきますと、１つ目の現在のネットワークはどのモデ

ルかにつきましては、現在のモデルとして、αモデルが 34 市、α´モデルが４市となっております。

２つ目のネットワーク構成の移行時期はいつかにつきましては、６年度移行済みが２市、７年度８年度がそれぞれ５市、９年度が８市、10 年度以降が 17 市となっております。

３つ目の、移行するにあたり、どのモデルにするかという質問につきましては、αモデル、α´モデルがそれぞれ 13 市、βモデルが２市、β´モデルは３市となってございます。

移行を検討するモデルの選定理由といたしましては、Microsoft365 対応や、業務効率化という理由が多くございました。その一方でセキュリティ面の懸念などから、αモデルから変更しないという理由もございました。

４つ目のその他の課題や検討状況としましては、国・地方のネットワークの将来像の動向を注視し、検討中としているところが多い状況となっております。

各市から回答をいただいてるところでございますが、何か補足説明をしたい市がございましたら挙手の方お願いいたします。

はい。よろしいでしょうか。それでは、清須市さんから特に伺ってみたい市がございましたらよろしいでしょうか。

【清須市】

はい。

オフィス製品として近いツールとしまして、Microsoft365 や Google Workspace を利用しており、２年以内にモデル移行を行うこととしております小牧市様と岡崎市様に２点お伺いしたいと思います。

１点目につきましては、現状のモデルで運用可能なツールではなく、Microsoft365 や Google Workspace を導入することとした決め手っていうのは一体、どういったことになりますでしょうか。

また、岡崎市様におかれましては、Microsoft365 ではなく Google Workspace にされた要因というのは何になるかということを教えていただきたいと思います。

２点目につきましては、Microsoft365 や Google Workspace と機能が重複するなどの理由で、グループウェアですとか、チャットアプリなど、そういったものを廃止、変更するような見込みのあるシステムは何かございますでしょうか。

その２点についてよろしくお願いいたします。

【議長】

それでは、追加の質問ということで、まず小牧市さんの方からよろしくお願いいたします。

【小牧市】
はい。小牧市行政改革課の安藤と言います。よろしくお願いします。
２点ご質問いただきましたが、まず１点目、現状のパッケージ版のオフィスを使ってるわけではなしにMicrosoft365を導入することとした決め手ということです。
こちらについては、シンプルでして、現在使用しているパッケージ版のオフィスが今年度公式サポート終了を迎えるということにあわせまして、本市の方で運用しておりますグループウェアが更新時期を迎えるということで、その更新のタイミングが重なったというところを踏まえまして、365を導入するという判断に至ったところでございます。
そして２点目ですが、365と機能が重複するということでの廃止変更する個別システム等のお話でございます。
先ほど例で例えられましたように、グループウェア、またチャットアプリ、その他ですとセキュリティ製品などにつきましても、あわせて現在使用しているものから、今回の更新に合わせて、365に移行したいと考えているところです。
私からは以上とさせていただきます。

【議長】
はい。ありがとうございました。
こちらについて清須市さんから、何か追加でご確認したい点がありましたらよろしいでしょうか。

【清須市】
はい、大丈夫です。ありがとうございます。

【議長】
はい。ありがとうございました。
それでは、次に、岡崎市さんの方から回答よろしくお願いいたします。

【岡崎市】
岡崎市の岩瀬といいます。
まず、Google Workspaceを導入するとした決め手は何になるかということですけども、まだこれ今ちょっと検討段階というところでの話になってしまいますが、実際にまず大きいのがコスト面、予算面ですね。
そちらの方がマイクロソフトのものよりも多分半分ぐらいになるのかなっていうような今、試算をさせていただいております。

あと、もう１つとしては働き方の変容と言いますか、ええ、何て言うんですか働き方の変容ですね。

例えば、外に行って特に技術系の方だと思うんですけど、現場に行ってそこで現場で見て作業をして帰ってきてからの仕事ということで、結構時間外が増えているという状況もあるというふうに聞いております。

そういったものが、今回この Google Workspace にすれば、ちょっと解消できるのかなあという。現場で、全てができるような形にできないかというふうなところもあります。あとは省力化っていうところをですね、AI を使ったりとかっていうところで、なるべくこれから職員が少なくなってくるというところもあるもんですから、１人に被さってくる仕事量を何とか省力化できるっていうふうで、促せていけるんではないかというような大きく３つのような要素を持って、Google Workspace っていうのはどうなのかなというところで今課内で検討してるところであって、市内、市の中でこれで行くぞというような、コンセンサスは今ちょっと取れていない状況ではあります。

あとネットワーク構成の移行時期っていう、ここすいませんちょっと最初に令和８年度って書かせていただいたんですけども、実際には多分８、９と構築をして 10 年度以降の実施になるのかなというふうに考えておりますんで、ちょっとここはすいません訂正をさせていただきたいと思っております。

あともう１つGoogle Workspaceを導入しても、多分外部とのやり取りっていう、特に国だとかのやり取りというところでは、多分マイクロソフトオフィスっていうところはどうしても必要になってくるんじゃないかというところもあるもんですから、そこもどういうふうな、完全脱却ということはできなさそうなので、そこをどうやってリカバリーするかっていうところはちょっと課題で持っているような状況でございます。

あと、廃止変更する見込みのあるシステムが何かあるのかということですけども、今グループウェアの方で Garoon という、すごい製品を使わせていただいておりますけども、それがここにも書いてある８年の 12 月末で一応契約が終わるということもあるもんですから、ちょっとそれを延期しながら 10 年度まで延期をしながら、繋いでその後はもうこの Garoon を廃止するというような形になるのかなというふうに考えている状況であります。

まだちょっとこれは本当に未定な部分がまだ多い状況なので、こんなこと考えてるよっていうふうで捉えていただけるといいなと思ってます。

以上です。

【議長】

はい。ありがとうございました。

清須市さん何か追加でご確認されたい点がございましたらよろしいでしょうか。

【清須市】
はい。結構でございますありがとうございます。

【議長】
はい。それでは、他に追加で伺ってみたい市がございましたら、挙手の方をお願いいたします。
よろしいでしょうか。
はい。では特にないようですので、県の方からこの議題についてのコメント等がありましたら、ご発言をお願いいたします。

【愛知県情報政策課　児玉課長補佐】
はい。コメントさせていただきます。
現在私共が運用しております庁内ネットワークといいますのは、20 年以上前の設計で構築した、いわゆる境界型防御のネットワークとなっております。
境界型防御のネットワークについては、インターネットの出入口を強く高くするという、境界内を保護するメリットがある一方で、技術の進化に伴う ICT 環境に必ずしも簡単にアップデートできるわけではございません。
今後、益々進む通信データ大容量化や、クラウドの導入、また巧妙化するサイバー攻撃への対策など、セキュリティ面の課題にも対応をしていかなければいけないところでございます。
そうしたことからネットワークの柔軟性を確保する必要があると考えておりまして、県では 2010 年度から 2024 年度にかけて、庁内のネットワークの再構築の計画を策定し、今年度から、具体的には１月から、一部のネットワークをローカルブレイクアウトという形で、安定、信頼できるネットワークのみ、例えば M365 とか、そういった信頼のおけるクラウドは、直接インターネットに接続するという形でローカルブレイクアウトを導入して試験運用を進めていきます。
以上でございます。

【議長】
はい。ありがとうございました。
議題２につきましては、以上とさせていただきます。
続きまして、議題３、書かない窓口の導入、検討状況について、提案市であります私共弥富市より趣旨説明をさせていただきます。

●議題３　書かない窓口の導入、検討状況について

【議長】

こちらにつきまして、本市では書かない窓口につきまして、未導入という状況でございまして、現在システムベンダーの方からは、情報システム標準化の完了後に、他システムと連携するシステムの導入を勧められているような状況でございます。

標準化完了後の書かない窓口の導入に向け検討をするにあたり、参考とさせていただくため各市の状況についてお伺いするものでございます。

それでは、本市からの提案に各市からいただきました回答につきまして、こちらは資料３の方にまとめられております。

各市の回答を見させていただきますと、１つ目の書かない窓口の導入の有無につきましては、未導入が 14 市、導入済みが 24 市となっております。

２点目の導入済みの場合の導入事業者や利用システムにつきましては、各市のメインベンダーとされているところが多いように見受けられます。

導入済みの場合の他システムとの連携の有無につきましては、導入済みの 24 市の中で、他システムと連携していないという市は 14 市、連携をしているという市は 10 市という状況で、主に住基システムの連携をされているような状況です。

また導入済みの場合の導入費用につきましては、連携の有無により大きな開きが見られ、自治体の規模や導入窓口数等により、違いがございまして、単純比較は難しいところではございますが、費用といたしましては、連携ありでは 143 万円から、高い方で１億 734 万円、連携なしでは、０円から 4,334 万円と、かなりの差がございます。

導入済みの場合の年間運用費用につきましても同様でございますが、費用といたしましては、連携ありでは 99 万円から 2,731 万円、連携なしでは０円から 355 万円までと幅があるような状況となってございます。

導入済みの場合の導入の主体課につきましては、情報部門が 12 市、住民部門が９市、企画部門が２市、情報・住民部門の共同というのが、１市という状況で、その導入窓口につきましては、住民、保険、介護福祉、子育て、税務、教育、健康および環境の各窓口が挙げられている状況でございます。

その中の特に住民部門につきましては、９割近くのところで導入されている状況となってございます。

３の検討状況や導入予定につきましては、各市状況が様々でございますので、記載内容のご確認をしていただきたいと思います。

このように各市から回答いただいているところでございますが、何か補足説明をしたい市がございましたら挙手をお願いいたします。

犬山市さんお願いいたします。

【犬山市】
はい。犬山市です。
ちょうど２ページ目になります。上から４つ目になります。（２）のところで年間運用費用っていうところが、350 万ってなっておりますけども、年間 815 万６千円というふうです。
導入費用が０円になってるんですけども５年リースでシステムと機器等を同時調達をしておりまして、５年のリースで令和８年 11 月 30 日までという 60 か月間になるんですが、行っておりますということで、金額の訂正をさせていただきたいと思います。すいません。よろしくお願いいたします。

【議長】
はい。ありがとうございました。
他にはよろしかったでしょうか。
特に無いということでございますので、それでは、提案市である本市の方から質問をさせていただきたいと思います。
それでは、本市とメインベンダーが同じ事業者で、書かない窓口のシステム連携をされているということから、豊川市さんへ３点お伺いしたいと思います。
１点目でございますが、まず書かない窓口システムと総合行政情報システムとのデータ連携をしたことによるメリットにつきましてご教授ください。
２点目でございますが、書かない窓口システムを導入する際に、他のシステムと比較されたと思われますが、導入されたシステムの長所短所についてご教授ください。
３点目ですが、書かない窓口導入まで情報政策課さんを中心に、どのような検討体制で作業を進められたか、豊川市さんよろしくお願いいたします。

【豊川市】
はい。豊川市情報政策課田邉です。
私の方から順に説明させていただきます。
まず１点目、書かない窓口システムと総合行政情報システム WizLIFE のデータ連携を行ったことによるメリットについてですけれども、２点ございまして、１つは WizLIFE 側から書かない窓口システム FastNavi への連携についてのメリットとしまして、WizLIFE で管理しているデータを書かない窓口システムへ連携することで、申請受付業務の効率化を図れるというのがございます。
もう１つのメリットとしては、書かない窓口側から WizLIFE 側への連携ということで、申請受け付けしたデータを WizLIFE へ連携することで、バックヤードでの入

力作業を省力化するためとなっております。
ただ、連携できているデータというのは全ての業務ではなく一部の業務となっておりますので、残ってる部分については今後予定をしているということでございます。
それから２つ目の FastNavi を導入する際に比較したシステムにつきましては、４システムほど比較を行いましたけれども、今回の FastNavi の長所としましては、基幹系システムと同一ベンダーでありますので、現在導入を進めているシステム標準化後の基幹系システムとの連携を調整しやすいというのが１点ございます。
それから基幹システムと同じクラウド環境に構築しているため、円滑なデータ連携が可能であること、それから構築費用が抑えられたことというのが２つ目のメリットです。
３つ目の長所としましては、作成した帳票を職員が修正できるといったところがございました。
短所としましては、根本的な部分かもしれませんけど、マイナンバーカード等による異動者の情報の読み込みにつきまして、申請者１名ごとでしかできないといったところが難しいというところになっております。
あと、文書管理機能に関しまして、システムで作成した住民異動届ですとか申請書およびスキャンした添付書類を電子データとして保存できる機能が提案システム側にはないといったところが欠点として挙げられます。
これについては、基幹系システム側で対応できるということで対応しております。
最後３点目ですけれども、書かない窓口導入までの検討体制についてですけれども、こちらについてはまず情報政策課の方が主体となりまして、システムの導入方針、調達スケジュールを作成しまして、部長級以上の情報政策推進本部員に説明を行いました。
その後導入に向けて市民課をはじめとする、システム導入課と調整担当者会議というものを作りまして、こちらの方を通じて仕様や運用方法等の調整をちょっと半年以上かけて行っております。
その後プロポーザルを実施して業者の方を選定した後、その後も情報政策課も参加する調整担当者会議を引き続き開催し、システム設計や運用調整を行ったという状況となってございます。
以上でございます。

【議長】
はい。ありがとうございました。
それでは他に追加で伺ってみたい市がございましたら挙手の方お願いいたします。

他によろしいでしょうか。
瀬戸市さんお願いいたします。

【瀬戸市】
瀬戸市桐山です。よろしくお願いします。
私の方からですね議題３と議題１とちょっと絡むんですけども、愛知県さんにもちょっとお聞きしたいんですけども、今書かない窓口というところで、国が示してる窓口 DXSaaS を今考えてるんですが、その中で使用するとなると多分窓口側にタブレット等で住所とか氏名とか聞き取りがあったり、住所情報の連携がそこから発生すると思うんですけども、そうしますと、議題１でセキュリティポリシーの改定の方で、その無線化というところがあったんですけども、私共では、無線化という意味合いでは、ポリシーの方で改定をしないといけないというふうに思っているんですけども、そこの部分の考え方っていうのをちょっとご教授いただければと。
直接その住民情報のデータベースに繋がって接続されている訳ではないんですが、ガバメントクラウド上の DXSaaS の方にはおそらく繋がってるっていうことにはなりますので、無線化という認識でよろしかったでしょうか。

【議長】
愛知県の方、お答えよろしいでしょうか。

【愛知県情報政策課　児玉課長補佐】
申し訳ありません。
なかなか私共の知見がなくて、総務省に確認しなければいけないような案件事案と認識しております。

【議長】
それではこちらにつきましてはまた後日、事務局の方から、回答を各市の方で情報共有していただくという形でさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
ありがとうございました。他にはよろしいでしょうか。
特に無いようですので、県の方からこの議題についてのコメントがあるようでしたら、よろしくお願いいたします。

【愛知県情報政策課　高田主査】
DX 推進室の高田と申します。
県では今年度から DX 推進室が事務局となりまして、市町村地域 DX 推進事業とい

うものを始めております。
　こちらの民間のコンサルティング会社のデジタル人材を活用して、各市町村さんの DX 課題の推進状況に合わせて支援を行っていくというものになっておりまして、一部の団体様に個別の伴走支援を行いつつ、全市町村様向けに課題の対応状況のヒアリングを今進めさせていただいております。
　そのヒアリングの中で書かない窓口の導入状況について伺っておりまして、各団体さんごとに様々なお困りごとがあると伺っております。
　体制面であるとか、あとその書かない窓口の導入にあたって、職員の事務負担が増えてしまうといったような課題も伺っております。
　今後そのヒアリングの結果を踏まえて、支援の計画を細かく詰めていきたいというところなんですけれども、その中で見えてきた共通項であるとか、知見なんか横展開できるものがあれば、市町村様の方に随時展開をさせていただければというふうに思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
　以上です。

【後日県からの回答】総務省サイバーセキュリティ対策室へ確認
　窓口 DXSaaS とタブレットの接続構成が不明のため、窓口 DXSaaS の接続がマイナンバー利用事務系から専用回線サービスを介して接続されている想定で回答します。
　この場合、タブレットは、マイナンバー利用事務系の無線 AP に接続されると想定されますが、各団体のセキュリティポリシーに追記するかどうは、各団体での判断になると存じます。
　総務省のセキュリティポリシーガイドラインにおいては、6.1.コンピュータ及びネットワークの管理（１３）無線 LAN のセキュリティ対策及びネットワークの盗聴対策 ②マイナンバー利用事務系（ⅲ-103～）で、無線 LAN におけるセキュリティに関する留意点等を記載しておりますので、これらを参考に各地方公共団体のセキュリティポリシーや実施手順、運用ルール等に定めて頂くことを技術的助言にてお示しております。

【議長】
　はい。ありがとうございました。
　それでは議題３につきましては以上とさせていただきます。
　続きまして、議題４その他に入らさせていただきます。
　せっかくの機会ですので会全体を通して何かご意見、ご質問等がありましたら挙手の方をお願いいたします。
　よろしいでしょうか。

はい。それでは特に無いようですので、続きまして、次第４、次年度当番市の決定の方に入りたいと思います。

④ 次年度当番市の決定　みよし市

【議長】

それでは次年度の当番市につきまして、事務局の方から説明をお願いいたします。

【事務局】

はい。次年度の当番市についてでございますが、建制番号順によりまして、議長当番市は、みよし市さんにお願いすることとなります。

みよし市さん、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局からは以上です。

⑤ 閉　　会

【議長】

はい。ありがとうございました。

それでは以上をもちまして、私の議長としての役割を終えさせていただきます。

ご協力の方、ありがとうございました。

【事務局】

横江課長様、ありがとうございました。

これをもちまして、電算・情報関係部課長会議を閉会いたします。長時間にわたりありがとうございました。

なお、お車でお越しの方は駐車券の押印をいたしますのでお申し出ください。

お帰りの際は、事故等にくれぐれもお気を付けていただきお帰りください。

ありがとうございました。